

<東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞>

税金の意味

福島市立福島第四中学校

3年 佐藤 拓実

僕の通っている中学校。そこで使う教科書は税金で賄われている。その教科書を使い授業をする先生のお給料。それも税金で賄われている。その先生が病院で診察したときにかかる診察料。その7割は税金で賄われている。僕の周りには税金が満ち溢れている。

では、なぜ税金があるのか。調べてみるとその答えはいくつかあった。

一つ目は、富の公平化である。これは収入の多い人は多くの税金を払い、収入の少ない人は少ない税金を払うことで起きる。例えば収入の多い人は高い車を買ひ、収入の少ない人は安い車を買ひ、などである。これによって個人と個人の間の格差を縮め、社会を安定化させ、公平な社会を維持することができるそうだ。とても理にかなっていて、良いシステムだと思う。僕は今まで、お金をたくさん持っている人が税金を払えばいいと思っていたが、このシステムを知って、国民はみんな平等でなければならないことを認識することができた。

二つ目は、国民の安心と安全の生活を得るためである。税金の使い道は多々ある。その多くは国民への社会保障である。主に、年金、医療、介護、子育て支援などがある。例えば介護保険。一昨年、祖母が骨のガンを患ひ、僕の家で介護する事になった。その時、祖母の病状に合わせて、車イス、電動ベッド、訪問入浴、酸素吸入器を利用させてもらって、とても助かった。その時、僕はそこに税金が使われているのを知らなかった。また、僕は時々病院にお世話になるが、窓口での支払いはない。これは医療と子育て支援の税金で賄われている。僕は気付かない所で税金のお世話になっていたのだ。

三つ目は、災害復興である。5年前に起きた東日本大震災、そして、今年の4月に起き

た熊本地震。これらの地震や津波による未曾有の大災害によって、家が壊れたり、道路が崩れたりするなどの大規模な被害が発生した。そういった災害からの復興にも税金が使われる。主に、仮設住宅の建設や道路の補修、がれき撤去、自衛隊の活動などだ。あの震災で自衛隊に助けられた人は少なくないだろう。その自衛隊が自分の払った税金で働いていると思うと、僕はとても嬉しい気分になった。少しずつではあるが被災地の復興は進んでいる。僕や誰かの払った税金によって。この事実を知り、僕は今までより一層被災地の復興を願った。

今回この作文を書いたことにより、僕は税金への興味がわいた。これまでは何となく見ているニュースも、その話題について親と意見を交わすようになった。さらに、税の大切さも理解することができた。僕はこれからも税金に助けられていくと思う。そして、これからは、自分は税の一人の協力者であることを自覚しながら生きていこうと思った。僕の心は決意で満たされた。